

人生訓く

訓……教え、しるし、よかけ

人生はよくいろいろなものにたとえられる。
 旅、マラソン、航海、学校、書物、山、……
 そして古今東西、人生についての多くの名言が残されてきた。

。人生は学校だ。この修了証書は学ばせと努力する者だけがもらえる

。人生は二冊の書物に似ている。愚者はそれをべらべらめくって行くが賢者は念入りに読む

。若い時に旅をしなければ
 老いてからの物語がない

それだけ人生は教訓に満ちていると
 いうことだ。

実際、世の中には様々な人々がいて様々な
 暮らし、喜び、悲しみ、幸不幸がある。

しかもどれ一つとってみても万人に共通のものはない。
 そしてそのどれもが「こうしたらよい」とは教えてくれない。

どの道を行くかは、自分がどこに行きたいかによるのだ。

十代の君たち、明日のことがわからない、未来が決まっていな
 いというのは、その可能性に満ちているということだ。

そういえば、こんなことを言ったおばあちゃんがいたっけ。

「通知票はのじやなければええ、
 ノとかコとかたしていけばさになる。人生は総合カ」



福ニキ
 校長室
 だより

ほたる草

水霜浴びて
 白菜
 一まりりり

青敵

平成二十八年十二月二日(金)

NO.123